

令和4年度事業報告

事業の概要

定款第3条の目的である「学術研究の助成及び知識の普及を図る」ため、下記諸事業を行った。

1. 研究等助成事業（定款第4条第1号）

別添資料 I-1

(1) 海外渡航費（オンライン参加費含む） 7件 626,730円

「生命科学分野における遺伝学に関する基礎的、学際的研究及び関連する諸技術等の研究」のため海外渡航費助成の公募を別紙募集要項により行い、選考委員の選考結果に基づく審査により、海外渡航費（オンライン参加費含む）の助成を行った。

2. 講演・講習会等開催事業（定款第4条第2号）

別添資料 I-2

(1) 三島市と遺伝学普及会は連携協定締結事業として下記の講座を開催した。

①「子ども向け遺伝学講座」：7月29日開催

講師：中島 一豪 「進化する昆虫、進化しない昆虫～身近にいるふしぎな生き物たち～」
市内の小学生39名が参加した。

②「遺伝学講座・みしま」：1月28日開催

講師：工樂 樹洋 「魚のDNAから知る5億年前のわたしたちの祖先」
五條堀 孝 「海洋メタゲノムと駿河湾のスマートオーシャン化構想」

(2) サイエンスカフェ「寺deサイエンス」を、11月に蓮馨寺にて開催した。

講師：山口 建「静岡がんセンター～20年の歩みと未来に向けて～」

鼎談：山口建、小林武彦、五條堀孝

総合司会：斎藤成也

Zoom参加97名（申込125名）、現地参加40名

3. 遺伝学に関する知識の普及と向上をはかるための事業（定款第4条第3号）

(1) 雑誌「遺伝」編集委員会において、雑誌「生物の科学「遺伝」」の編集を行い、隔月6冊を株式会社エヌ・ティー・エスより下記のとおり発行した。

「生物の科学「遺伝」」

2022年 5月号 特集「コケ植物が語る過去・現在・未来」他

2022年 7月号 特集「メンデル生誕200年記念」他

2022年 9月号 特集「遺伝情報から見たイヌの世界-進化・獣医療・社会との関わりまで」他

2022年11月号 特集「海藻バイオ：微細藻類の魅力と実力
～バイオリファイナリーによるSDGsへの挑戦」他

2023年 1月号 特集「植物性テントウムシの生物学」他

2023年 3月号 特集「ネコのズーロジー～ネコをめぐる科学研究と社会問題」他

(2) 国立遺伝学研究所の協力により、(株)エフエムみしま・かななみにおいて普及会
放送事業サイエンスNOWを実施した。

別添資料 I-3

(3) 株式会社エヌ・ティー・エスより刊行した生命科学情報検索ガイドブックの企画を行った。

4. 遺伝学に関する教育資料の頒布事業（定款第4条第4号）

教育研究資料の頒布等を下記のとおり実施した。

・冊子	「遺伝研のさくら」5版	52冊
・冊子	「遺伝研のさくら」6版	159冊
・絵葉書	「国立遺伝学研究所の桜」〔Ⅱ〕	5部
	「国立遺伝学研究所の桜」〔Ⅲ〕	4部
	「国立遺伝学研究所の桜」〔Ⅱ〕 + 〔Ⅲ〕	5部
・桜ストラップ		17個
・桜キーホルダー（半兵衛）		10個
・LED付さくらキーホルダー		28個

5. 動植物に関する優良品種の普及事業（定款第4条第5号）

(1) 変化アサガオの種子及び絵葉書「国立遺伝学研究所のアサガオ」の頒布を行った。

・変化アサガオの種子	1758袋
・変化アサガオ絵葉書	2部

6. その他前条の目的を達成するために必要な事業（定款第4条第6号）

(1) 国立遺伝学研究所の委託を受けて桜樹木維持管理及び接木事業を行った。

別添資料 I-4

そ の 他

1. 維持会員

法人の目的を達成し、健全な事業活動を維持するために必要な財政基盤を増大するために維持会員の募集を行った。

個人会員2名の入会の申し出があった。

令和5年3月31日現在 団体会員 9社 11口 個人会員 6名 10口

2. 遺伝学振興基金

令和4年度中にはありません。

3. 寄附金

(1) 令和4年4月に中村裕美子様より一般寄付金として1万円の寄付があった。

(2) 令和4年8月に池村淑道様より特定寄付金として9万円の寄付があった。

※所属研究団体日本遺伝学会の事業報告書を添付書類としてつける・・・・・・・・・・別添資料Ⅱ

令和 4 年度事業報告附属明細書

事業における重要な事項は令和 4 年度事業報告に記載されており、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する事項は特にない。

公益財団法人遺伝学普及会